

付け、トリッキーにパフォーマンスすることができ。

エクスパンション・パフォーマンス

最強のシンセサイザー性能を誇る理由は、先のJV-80の素質を直系したというだけではなく、その真の驚異は無数の音色拡張性にある。エクスパンション・ボードSR-JV80シリーズとボイス・エクスパンション・ボードVE-GS1、そしてライブラリカードの活用である。エクスパンション・ボードによる拡張:JV-1000の底面パネルには、この大容量ボード搭載用のフリップがある。ここからユーザーは簡単にエクスパンション・ボードSR-JV80シリーズを装着でき、本体プリセット音色に加えて、驚異的な音色数を供給することができる。たとえばSR-JV80-02オケストラでは、オケストラで使われるクラシック楽器、弦楽器、ウィンド系、ブラス系、パーカッション系を網羅、各セクションや演奏表情をきめ細かく収録したウェーブを14種類、そしてこれをもとに組み上げたパッチ255種類を内蔵。しかもこのボードのラインナップは今後とも充実。これによってJV-1000はイメージングの効果でまでも音色をアジャストできる無限の音色表現力、シーンのつねに中心に立つサウンドをいとも思いのままにインストールする未来性能も獲得したことになる。いわばGSフォーマット・シンセサイザーを合体:そしてJV-1000のエクスパンション・ボードによるドラッグ可能な拡張性。次はボイス・エクスパンション・ボードVE-GS1の驚異である。このボードの追加は、まさにGSフォーマット・シンセサイザーを一台分、JV-1000にビルト・インするに等しい。音色供給は実に226音色。今やDTMやMIDI音源のうちでも高人気のGSフォーマットということで、シーケンス・データやSMF(スタンダードMIDIファイル)データの再生にも大活躍するだろう。しかもこちらのボードは、本体音源とはまったく独立した音源として搭載されるため、JV-1000全体の演奏能力も最大同時発音数56音(JV音源28音、GS音源28音)、24パート・テンパーへ飛躍的にアップ。多

彩な音色のGS音源をバックに控え、強烈なJV音源でソロを決める。これがJV-1000のハイ・テク音源である。もちろんサウンド・ライブラリでも拡張:ウェーブとパッチ・データをカードで供給するJV系サウンド・ライブラリ-SO-PCM1シリーズや、本体ウェーブと拡張ウェーブをフルに駆使した実践的なパッチを統合と供給するPN-JV80シリーズもコンビナブルに使用可能。最大パッチ数は実に993音色に達する:拡張による圧倒的な音色表現力。ちなみにスタジオオアステージ上でスタンバイさせられる最大パッチ数は、以下の通り。本体プリセット・パッチ.....256音色 本体ユーザー・エリア・パッチ.....64音色 サウンド・ライブラリ-PN-JV80シリーズ.....最大64音色 サウンド・ライブラリ-SO-PCM1シリーズ.....最大128音色 エクスパンション・ボード-SR-JV80シリーズ.....最大255音色 ボイス・エクスパンション・ボード-VE-GS1.....226音色 総計993音色



こうした膨大な音色をスピーディに選択できるように、視覚的にも明確なマトリクス方式のパッチ・グループ・スイッチを装備。

MC-50MK IIシーケンサー・ブロック

ミュージック・ワークステーションとして最強のコンポナー・シーケンサー性能をサポートするために、プロの間ではその高性能と高安定度で断然のスタンダードとなっているマイクロ・コンポナーMC-50MK IIをぞくぞくシーケンス・エンジンとして搭載。一目でMCがそこそこ存在すると直感できるデザインとプロの手に馴染んだ操作性の良さとともに、超高機能シーケンサー・ソフトSUPER MRC、パフォーマンス・バックアップSUPER MRP、そしてテープ・シンクⅡやSMFデータへの対応、3.5インチ・フロッピー・ディスクドライブの装備など歴戦で鍛え上げられてきた数々のハイスペックをこごとく移植。単にワークステーションの名が欲しいだ

けの簡易的なシーケンスではない。ここにあるのは、内部音源を縦横無尽にドライブして、壮大なスケールのオーケストラ・ワンを実現できるシーケンス・パワーであり、さらには外部のMIDI音源やMTRシステムまでも積極的に接続できる超大規模シーケンス・システムとのなれ親しみやすいMIDIデータ制御能力だ。最大128パート構成SUPER MRC 基本性能は、世界のプロの表現力。超人気シーケンス・ソフトSUPER MRCが約束。その最大の特長である大容量ブレス・トラック構成で、1トラックに16MIDIチャンネルを記憶。しかも最大8トラック×16chでなんと128パートを実現。さらにMIDIアウトは完全独立2系統のため、16ch×2系統で最大32台におよぶネットワークを構築。SUPER MRCの圧倒的なデータ処理能力、編集能力、演奏能力のすべてがここに。データ・メモリーは本体に最大4万音、8ソングまで。フロッピー・ディスクには15万音、ソング・ファイルは最大108種類を保存することができる。高効率なデータ入力、ステップ入力も強力:演奏データの作成はリアルタイム入力、ステップ入力の2通りをサポート。オート・パンチ・インやリブレス・レック、さらにステップ入力後、ペロシティやステップ、タイムなどを鍵盤を使って入力できるなど、データ作成を効率よく実現するための豊富な機能を備えている。マイクローコープなど高度なエディット:データを音ごとに数値で確認しエディットできるマイクローコープ・エディットをはじめ、指定範囲の特定のファクターを一度に修正ができるマクロ的なエディットや、ソング間のコピー・編集、演奏時間を確認するタイム・カリキュレーション機能、指定位置へジャンプするロケート・ポイント機能など、MC-50MK IIの高機能を完全移植。さらにトラック・モニター機能で、使用されたMIDIチャンネル、メモリー・残量などもディスプレイ表示。またトラック・インジケータが、各トラックの状況を表示。強力な外部とのシンク機能:広大なMIDIプランに、シーケンサーやリズムマシンとはMIDIクロックで、

MTRとはテープ・シンク・インターフェースで同期。しかもテープ・シンクⅡの採用で曲途中からの同期も可能。ライブを圧倒するSUPER MRPも搭載:たとえば、最大99曲の連続演奏、指定区間のリピート演奏などライブイベントをサポートするのがパフォーマンス・ソフトSUPER MRP。曲間時間の設定、プレイ中の各トラックのミュートや曲の頭出しも自在。JV-1000をステージの中心にして、まさにステージ全体を制御することもできる。

マルチ・タスク、JV-1000フィーリング

たとえばバックアップのアナログ演奏はシーケンサーとGS音源VE-GS1にゆだね、プレーヤーはシンセサイザー音源をフルに活用したライブを展開するなど、シーケンスとサウンドのためのふたつの巨大なエンジンと平行して搭載したJV-1000ならではの世界は、あなたの創造力の次元をはるかに拡大してしまうだろう。シーケンサー部と音源部はディスプレイからスイッチまで完全に独立しているため、音づくりと曲づくりをマルチ・タスク感覚でまったく独立して同時オペレーション可能。キーボードは外部MIDIや内蔵音色のソーニングも駆使でき、マスター・キーボードとしても堂々たる演奏力を発揮できる76鍵仕様。ディスプレイと感覚的な連動も考慮してシンセ・パラメーターの設定をウルトラ・スムーズに行える8本エディット・スライダーももちろんシーケンサーのミキシング設定にも活躍。内蔵音色とボイス・エクスパンションの各独立レベル・スライダーも装備。パフォーマンス、パッチ、リズムの各モードに素早く移行する専用ボタン。シーケンサーはディスクモードでディスク・モードへ瞬時に移行可能などなど、従来のJV、MCの単体モデルすら超える操作性も獲得。



内蔵ウェーブフォーム一覧

Table with 5 columns: No., Wave Name, No., Wave Name, No., Wave Name. Lists various internal waveforms like Ac Piano 1, SA Rhodes 1, SA Rhodes 2, etc.

ボイス・エクスパンション・ボードVE-GS1による音色の拡張

Table with 12 columns: PC#, CC#, Tone Name, PC#, CC#, Tone Name, PC#, CC#, Tone Name, PC#, CC#, Tone Name. Lists expanded voice sounds like Ac Piano, Organ, Bass, Brass, Synth Lead, Ethnic Misc, Percussive, etc.

※No.130-134は、別冊で取り扱っているエクスパンション・ボード「MPC」シリーズのウェーブフォームを指しています。また、No.145-152は、市場にて販売されているMPCカード「Grand Piano 1」(SO-PCM1-04)のウェーブフォームを指しています。また、上記ウェーブフォームを使用する320種類のパッチ(プリセット・パッチ255種類+ユーザー・パッチ4種類)には、PN-JV80-05から録音されたものも含まれています。

The Highest for the Highest. ふたつの巨大心臓をもったモンスター。 JV-1000 MUSIC WORKSTATION

¥249,000 (税別)